

有田中央高等学校清水分校

実施日時	①令和元年 5月30日(木) ②令和元年 9月 5日(木) ③令和元年11月 5日(火)
参加者	①生徒8名、教職員 8名 計16名 ②生徒8名、教職員10名 計18名 ③生徒8名、教職員10名 計18名
実施内容	①応急処置講習会 ②防災スクール「地震避難訓練」 ③「世界津波の日」地震避難訓練

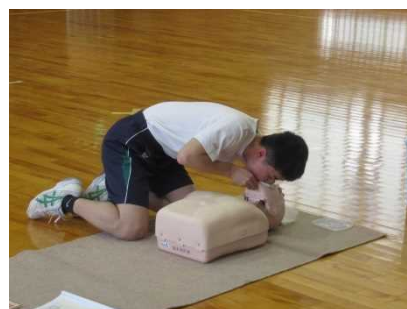
ねらい

- ① 全生徒、全教職員の共通理解と協力のもと応急処置、救急体制の習熟に努め、事故防止や安全能力の育成を図る。
- ② 地震発生時にそれぞれの場面に応じた身の安全を確保する行動をとるなど、適切な対応行動を身に付けるとともに、日頃から地震に対する防災意識を高める。

主なプログラム

① 応急処置講習会

応急手当の必要性、AEDを使用して心肺蘇生法実技指導、効果測定(実技試験)
応急処置法実技指導



② 防災スクール「地震避難訓練」

地震発生時の安全行動、避難誘導、救護体制の訓練、起震車体験、地震・津波についての防災講座避難カードの記入、アルファ米の試作及び試食



③ 「世界津波の日」地震避難訓練

シェイクアウト訓練、避難誘導、救護体制の訓練、「世界津波の日」「稲村の火」に関する講話
緊急地震速報について DVD 鑑賞



概要

① 応急処置講習会

事故・災害が発生したとき、応急手当や AED を使用して冷静かつ沈着にしかも正しい手当をすることによって、生命を守り、痛みをやわらげ、症状の重篤化を防止することができることを学んだ。

② 防災スクール「地震避難訓練」

地震発生時の身を守る行動、避難経路の確認をおこなった。起震車体験では、地震の恐怖、大きな地震が起こった場合、自分がどのような状態になるか、身をもって体験した。また、学校が避難所になった場合を想定し、実際にアルファ米を試作及び試食した。

③ 「世界津波の日」地震避難訓練

地震発生時の身を守る行動、避難経路の確認をおこなった。また、いつ、どこで、地震が発生するか分からないので、緊急地震速報が入った場合、あらゆる場面でどのような行動をとるとよいのか DVD で学習した。

参加者感想文

- ・ 地震が起こった場合、避難することを日頃から計画することの重要性を感じることができた。
- ・ 改めて地震の怖さや対策、予防の大切さを感じた。
- ・ 地震が起こった場合のために家族会議をおこなおうと思った。
- ・ 地震にもいろいろな種類の揺れ方や起こり方があるのだな、と思った。

成果と課題

【成果】 応急処置講習会では、総合病院等の医療施設までの距離が遠いという地域の課題を意識して、初期の対応が重要であることを再認識した。

地震・避難訓練では、地震の恐怖、予防・対策、家族会議の必要性を感じたという感想が多く書かれていたことから、身をもって体験できたと思う。

【課題】 山間地のため津波は想定外であるが、土砂崩れや路面崩壊による交通の遮断や、電柱や電線の損壊による停電の被害は十分予想される。今年の台風21号では、有田川町の山間部で停電が長期間続き、分校の生徒の中には10日以上停電状態だった者もいた。学校のある地域は比較的早く復旧したのでよかったが、電話・インターネットはもちろん、携帯電話も不通になり、ほぼ1日は生徒や有田中央本校との連絡もできなかった。災害後の状況に対応できる体制づくりが必要である。